

国内機関における研究データ管理の取り組み状況調査（2024年度）

<調査概要>

本調査は、国内の大学・研究機関を対象に、機関内での研究データ管理の取り組み状況を把握することを目的として実施いたします。

昨今、研究データ管理は、研究データの積極的なオープン化を促進するオープンサイエンス政策の要請と、研究公正を目的とした論文の根拠となるデータ保存の両面から求められています。そして、研究データ管理実施のための具体的な体制作りは各大学・研究機関に委ねられており、各所で様々な議論が展開されています。

このような状況下において、オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）では本調査を実施することで、国内における研究データ管理のベストプラクティスの共有、研究データ管理サービス実施のための戦略立案に役立つデータを収集することができるのではないかと考えております。調査結果については、例年3月に開催される予定のJPCOAR総会で公表するほか、報告書の形で一般に公開する予定です。ご協力に感謝いたします。

【参考】

2020年度調査結果報告：

2022年度調査結果報告：

なお、本調査は大学ICT推進協議会（AXIES）研究データマネジメント（RDM）部会及び科学技術・学術政策研究所（NISTEP）データ解析政策研究室と協力して実施しています。収集されたデータは、分析及び報告書作成のため両団体へ共有いたします旨、あらかじめご承知おきください。

<基礎情報>

調査期間：2024年11月25日～2024年12月27日

質問数／所要時間：全47問／約60分

セクション別照会先（※）：

- セクション1（概要説明）：メールアドレス（Q1：全1問）
- セクション2（基礎情報）：JPCOAR参加機関 窓口担当部署または機関リポジトリ担当部署（Q2～Q5：全4問）
- セクション3（ニーズの把握）：機関内の研究データ管理（RDM）担当者／対応部署（Q6～Q11：全6問）
- セクション4（データ管理体制の構築状況）：研究推進部署／URA等（Q12～Q18：全7問）
- セクション5（研究データ管理サービスの実施状況）：大学図書館等（Q19～Q27：全9問）
- セクション6（情報インフラの整備状況）：情報基盤センター等（Q28～Q45：全18問）
- セクション7（オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）について）：JPCOAR参加機関 窓口担当部署または機関リポジトリ担当部署（Q46～Q47：全2問）

（注）末尾に☆マークがついている質問は、2024年度から新規に追加した質問となります。

※機関内での照会先は、各大学・研究機関の体制によって異なる場合があります。本調査の回答取りまとめ部署の方におかれましては、質問内容に応じて適切な部署への照会

をお願いいたします。適切な照会先が存在しない場合は、全て「わからない」をご選択
いただいて問題ありません。

<問い合わせ先>

<収集したメールアドレス及び所属機関名の取扱い>

本調査では、回答者のメールアドレス及び所属機関名の記載をお願いしております。収集した情報は同一機関からの重複回答チェックに使用するほか、本調査で回答いただいた取り組み状況の状況をより詳しくお伺いしたい場合に使用する可能性があります。その他の目的で収集した情報を使用する場合は、事前にメールで利用申請を行い、メール文面での同意が得られた場合に限って使用いたします。

<収集したデータの公開>

本調査で収集されたデータは、上述したメールアドレスや所属機関名のほか、自由回答など回答機関の特定に繋がる情報を削除したうえで公開いたします。データの公開に同意されない場合は、Q46・Q47の自由記述欄にその旨を書き添えていただくか、上記問い合わせ先までご一報ください。なお、データ公開後は削除のお申し出に応じられない場合がございます。あらかじめご承知おきいただけますようお願いいたします。

【参考】

* 必須の質問です

1. メールアドレス *

基礎情報

初めに、ご所属の機関に関する基礎的な情報を伺います。【回答先：JPCOAR参加機関
窓口担当部署】

2. Q2. ご自身の所属する機関名をお知らせください。 *

3. Q3. ご自身の所属する機関の種別をお選びください。 *

1つだけマークしてください。

- ☐ 国立大学
- ☐ 公立大学
- ☐ 私立大学
- ☐ 短期大学
- ☐ 高等専門学校
- ☐ 大学共同利用機関
- ☐ 国立研究開発法人
- ☐ その他: _____

4. Q4. ご自身の所属する機関の規模をお聞かせください。 *

1つだけマークしてください。

- ☐ 8学部以上
- ☐ 5～7学部
- ☐ 2～4学部
- ☐ 単科大学
- ☐ 短期大学
- ☐ 高等専門学校
- ☐ 大学共同利用機関
- ☐ 国立研究開発法人
- ☐ その他: _____

5. Q5. 本調査にあたり、回答作成に携わった部署をお聞かせください。（複数
選択可・ご自身の所属先を含む） *

当てはまるものをすべて選択してください。

	図書館	情報系 センタ ー	研究推 進・協 力系部 門	知財系 部門	機関の 執行部 等	その他
セクシ ョン2	☐	☐	☐	☐	☐	☐
セクシ ョン3	☐	☐	☐	☐	☐	☐
セクシ ョン4	☐	☐	☐	☐	☐	☐
セクシ ョン5	☐	☐	☐	☐	☐	☐
セクシ ョン6	☐	☐	☐	☐	☐	☐
セクシ ョン7	☐	☐	☐	☐	☐	☐

ニーズの把握

このセクションでは、研究データ管理の取り組みに対する大学・研究機関内のニーズ調査状況について伺います。【機関内での照会先：機関内の研究データ管理（RDM）担当者／対応部署】

6. Q6. 貴機関における研究データ管理のニーズ把握に関する議論で、中心とな
って関与している部署はどの部署でしょうか。☆ *

1つだけマークしてください。

- ☐ 図書館
- ☐ 情報系センター
- ☐ 研究推進・協力系部門
- ☐ 知財系部門
- ☐ 機関の執行部等
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

7. Q7. 貴機関では、研究者等に対し研究データ管理に関する調査を実施したこ
とがありますか。 *

1つだけマークしてください。

- ☐ 実施したことがある（→Q8～Q11へ）
- ☐ 実施したことはない（→Q12（次のセクション）へ）
- ☐ わからない（→Q12（次のセクション）へ）

8. Q8. 研究データ管理に関する調査を「実施したことがある」と回答した機関に
伺います。最新の調査の実施規模をお知らせください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 機関に所属する全研究者を対象に実施した
- ☐ 機関に所属する研究者のうち、特定部局など一部の研究者を対象に実施した
- ☐ 機関に所属する研究者のうち、特定の研究者を対象に実施した
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

- 9。 Q9. 研究データ管理に関する調査を「実施したことがある」と回答した機関に伺います。今後どの程度の頻度で実施する予定ですか。☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 年1回程度実施する予定
- ☐ 必要に応じて実施する予定
- ☐ 調査を行う予定はない
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

- 10。 Q10. 研究データ管理に関する調査を「実施したことがある」と回答した機関に伺います。どのような方法で実施しましたか。（複数選択可）

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ アンケート調査（AXIES雛形を利用）：<https://rdm.axies.jp/sig/24/>
- ☐ アンケート調査（独自様式）
- ☐ 個別インタビュー調査（JANUL雛形を利用）：
<https://www.janul.jp/ja/news/20200615>
- ☐ 個別インタビュー調査（独自様式）
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

- 11。 Q11. 研究データ管理に関する調査を「実施したことがある」と回答した機関に伺います。次回の調査にあたり、調査項目の見直しを行う予定はありますか。☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 前回と同様の形式で実施する予定
- ☐ 必要に応じて、前回の調査結果や他機関の調査結果をもとに見直す予定
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

データ管理体制の構築状況

このセクションでは、機関における研究データ管理体制の構築状況について伺います。
【機関内での照会先：研究推進部署／URA等】

12. Q12. 貴機関における研究データ管理体制の構築に関する議論で、中心とな *
って関与している部署はどの部署でしょうか。☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 図書館
- ☐ 情報系センター
- ☐ 研究推進・協力系部門
- ☐ 知財系部門
- ☐ 機関の執行部等
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

13. Q13. 貴機関では、機関全体での研究データ管理体制構築に向けた何らかの *
取り組みが始まっていますか。

日本学術会議「回答：科学研究における健全性の向上について」（平成27年（2015年）3月6日）で示された研究データの10年保存対応に限定した取り組みは、本問の対象に含まれません。

1つだけマークしてください。

- ☐ 必要性は認識しているが、具体的な動きはない
- ☐ 一部の部局で議論・実施されている
- ☐ 機関全体での検討のための委員会、ワーキンググループ等が組織されている
- ☐ 体制が構築され、機関として実施している
- ☐ わからない

14. Q14. 貴機関では、研究データ管理に関する何らかのデータポリシーは定められていますか。 *

ここでのポリシーは、「[公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方](#)」で、研究開発を行う機関に求められているものを想定しています（例：[国内大学の研究データポリシー（一覧）](#)に掲載されている文書）。「一部の部局で策定済みまたは検討中である」及び「機関全体でのポリシーを委員会、ワーキンググループ等で検討中である」の両方に該当する場合は、後者を選択してください。

1つだけマークしてください。

- ☐ ポリシーは策定されておらず、検討も行われていない（→Q17へ）
- ☐ 一部の部局で策定済みまたは検討中である（→Q17へ）
- ☐ 機関全体でのポリシーを委員会、ワーキンググループ等で検討中である（→Q17へ）
- ☐ 機関としてのポリシーを策定した（→Q15・Q16へ）
- ☐ わからない（→Q17へ）
- ☐ その他: _____

15. Q15. Q14で、「機関としてのポリシーを策定した」と回答された方に伺います。研究データ管理の実施手順は明文化されていますか。 ☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 実施手順は定められていない
- ☐ 一部の部局で明文化されている
- ☐ 機関全体での実施手順を検討中である
- ☐ 機関としてのポリシーに沿った実施手順を明文化した
- ☐ わからない

16. Q16. Q14で、「機関としてのポリシーを策定した」と回答された方に伺います。部署ごとのデータポリシー達成目標、実施状況をどのように共有していますか。☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 共有していない
- ☐ 必要に応じて、関係部署間で達成目標、実施状況を共有している
- ☐ 部署ごとの達成目標、実施状況を共有するミーティングが設定されている
- ☐ わからない

17. Q17. 貴機関において、研究データ管理に関するシステム経費や人件費等を、2024年度予算として計上していますか。★

1つだけマークしてください。

- ☐ 予算として計上していない
- ☐ 外部資金（間接経費を含む）を財源として予算計上している
- ☐ 担当部局の運営費の範囲内で予算計上している
- ☐ 機関全体の運営費を財源として予算計上している
- ☐ 機関全体の運営費に加え、外部資金（間接経費を含む）を財源として予算計上している
- ☐ わからない

18. Q18. Q17で、運営費または外部資金を財源として「予算計上している」と回答された方に伺います。貴機関では、予算をどのような目的で使用していますか（または、使用する予定がありますか）。（複数回答可）☆

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 学内での連携体制の構築・研究データ管理の認知度向上
- ☐ 研究データポリシー/ガイドラインの策定・改訂
- ☐ 研究データ管理支援サービスの提供
- ☐ 研究者のニーズ把握
- ☐ ITインフラ（ストレージ等）の整備
- ☐ その他: _____

研究データ管理サービスの実施状況

このセクションでは、研究データ管理サービスの実施・検討状況についてお伺いします。【機関内での照会先：大学図書館等】

- 19。 Q19. 貴機関における研究データ管理サービス実施に関する議論で、中心と *
なって関与している部署はどの部署でしょうか。☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 図書館
- ☐ 情報系センター
- ☐ 研究推進・協力系部門
- ☐ 知財系部門
- ☐ 機関の執行部等
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

20. Q20. 貴機関では、何らかの研究データ管理サービスを実施していますか。 *

1行につき1つだけマークしてください。

	実施し ている (→Q21 へ)	検討中 (→Q22 へ)	実施し ていな い (→Q22 へ)	わから ない (→Q22 へ)
研究データ管理計画 (DMP) 作成支援	☐	☐	☐	☐
研究データ管理トレーニング&データリテラシー支援	☐	☐	☐	☐
研究データの知財管理支援	☐	☐	☐	☐
研究データのストレージ提供	☐	☐	☐	☐
データ公開プラットフォーム(機関リポジトリ等)の提供	☐	☐	☐	☐
データキュレーション支援	☐	☐	☐	☐
研究データの利用・引用に関する支援	☐	☐	☐	☐

21. Q21. Q20で、1つ以上「実施している」と回答された方に伺います。貴機関で実施している研究データ管理サービスは、機関としてどのように管理していますか。☆

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 部署ごとにサービスが提供されており、他のサービスとは特に連携していない
- ☐ 機関が提供するサービスを一覧できるリストやウェブページがある
- ☐ 部署ごとに提供されるサービス内で、適宜他のサービスへの案内がなされている
- ☐ サービスを提供する複数の部署間で、利用者からのフィードバックが共有されている
- ☐ 各部署でサービスのコスト分析・リスク評価がなされている
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

22. Q22. 2023年度～2024年度の間、図書館員・URAなど研究支援職向けの研究データ管理に関する研修会・ワークショップ・シンポジウム等のイベントを実施した、あるいは実施する予定がありますか。☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 実施したことがある
- ☐ 実施予定である
- ☐ 実施予定はない
- ☐ 検討中である
- ☐ わからない

23. Q23. 2023年～2024年間に、研究者向けの研究データ管理に関する研修会・ワークショップ・シンポジウム等のイベントを実施した、あるいは実施する予定がありますか。☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 実施したことがある
- ☐ 実施予定である
- ☐ 実施予定はない
- ☐ 検討中である
- ☐ わからない

24. Q24. 2023年度～2024年度の間に、貴機関の機関リポジトリで研究データを *
公開した、あるいは公開予定はありますか。☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 公開した事例がある
- ☐ 公開予定がある
- ☐ 公開予定はない
- ☐ わからない

25. Q25. 機関リポジトリでの研究データ公開にあたり、課題や障壁となり得る *
ことをお聞かせください。（複数選択可）

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 研究者が機関リポジトリで研究データが公開できることを知らない
- ☐ メタデータの記述が困難
- ☐ 適切なライセンス・利用条件がわからない
- ☐ 公開希望がある研究データのサイズ
- ☐ 研究データのフォーマット形式がわからない、扱えない
- ☐ 上記以外の点で、機関リポジトリのシステムが対応していない
- ☐ 機関リポジトリの運用規程等が未整備である
- ☐ 研究データの利用形態がわからない
- ☐ 公開に当たってのマンパワーが足りない
- ☐ 公開に当たっての資金が不足している
- ☐ その他: _____

26. Q26. 研究データ管理サービスを展開するにあたり、自機関の研究者から要望が高いと思われるサービスをお聞かせください。（複数選択可） *

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 研究データ管理計画（DMP）作成支援
- ☐ 研究データ管理トレーニング&データリテラシー支援
- ☐ 研究データの知財管理支援
- ☐ 研究データのストレージ提供
- ☐ データ公開プラットフォーム（機関リポジトリ等）の提供
- ☐ データキュレーション支援
- ☐ 研究データの利用・引用に関する支援
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

27. Q27. 機関における研究データ管理サービスを展開するにあたり、特に課題や障壁となる要素はどれでしょうか。 *

1つだけマークしてください。

- ☐ 研究データ管理のノウハウや人材が不足している
- ☐ 研究データ管理のための経費
- ☐ 機関におけるポリシーや部署間の役割分担等の未整備
- ☐ 研究データ管理の実例が不足している
- ☐ 当てはまるものはない
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

情報インフラの整備状況

このセクションでは、研究データ管理サービスを支える情報インフラの整備状況について伺います。【機関内での照会先：情報系センター等】

28. Q28. 貴機関における研究データ管理の情報インフラ整備に関する議論で、*
中心となって関与している部署はどの部署でしょうか。☆

1つだけマークしてください。

- ☐ 図書館
- ☐ 情報系センター
- ☐ 研究推進・協力系部門
- ☐ 知財系部門
- ☐ 機関の執行部等
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

29. Q29. 現在、貴機関における研究データ管理サービスの情報インフラ整備は *
どのように検討が進められていますか。

1つだけマークしてください。

- ☐ 機関レベルで検討・対応が進められている
- ☐ 部局ごとに検討・対応が進められている
- ☐ 研究者個人に委ねられている
- ☐ 特に検討・対応は行われていない
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

30. Q30. 貴機関で実施している研究データ管理サービスの情報インフラは、機 *
関としてどのように管理していますか。☆

データ連携の例：研究者情報に紐づくIDでの各種サービス認証など

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 部署ごとに情報インフラが提供されており、他のサービスとは特に連携していない
- ☐ 機関内での認証を用いて、情報インフラ間のデータ連携が実施されている
- ☐ 導入したサービスのコスト分析・リスク評価がなされている
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

31. Q31. 貴機関では、研究データを長期的（5年以上）に保存するためのストレージ（オンプレミスまたは商用クラウド）として、ユーザー1人あたりのどの程度の基本容量の提供が必要と考えていますか。 *

* オンプレミス：組織内のハードウェアとソフトウェアでシステムを運用すること

1つだけマークしてください。

- ☐ 1GB未満
- ☐ 1GB以上10GB未満
- ☐ 10GB以上100GB未満
- ☐ 100GB以上1TB未満
- ☐ 1TB以上
- ☐ わからない

32. Q32. 貴機関では、ユーザーに対してストレージをどのように提供していますか。 *

1つだけマークしてください。

- ☐ オンプレミスで提供している（→Q33・34へ）
- ☐ 商用クラウドで提供している（→Q33・34へ）
- ☐ 上記のいずれか、あるいは両方で提供を検討している（→Q35へ）
- ☐ 提供する予定はない（→Q35へ）
- ☐ わからない（→Q35へ）

33. Q33. Q32で「オンプレミスで提供している」「商用クラウドで提供している」と回答された方へ伺います。貴機関で提供しているストレージサービスのユーザー認証方法をお知らせください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 機関管理の共通認証システム（LDAP、Active Directoryなど）
- ☐ 機関管理の共通認証システムに加え、学認フェデレーションによる機関外からの利用を許可
- ☐ 商用クラウドでの共通認証システム（Microsoft 365、OpenID Connectなど）
- ☐ サービス独自のユーザー管理
- ☐ サービスを提供していない
- ☐ わからない

34. Q34. Q32で「オンプレミスで提供している」「商用クラウドで提供している」と回答された方へ伺います。貴機関のストレージサービスで提供している、ユーザー1人あたりの基本容量をお知らせください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 1GB未満
- ☐ 1GB以上10GB未満
- ☐ 10GB以上100GB未満
- ☐ 100GB以上1TB未満
- ☐ 1TB以上
- ☐ わからない

35. Q35. 貴機関では、研究データを公開するためのリポジトリシステムを提供 * していますか。（複数選択可）

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 分野別リポジトリ（例：SSJDA, DDBJ）を提供している（→Q36へ）
- ☐ 機関リポジトリを提供している（→Q36へ）
- ☐ 汎用リポジトリ（例：Figshare, Zenodo）の利用を推奨している（→Q37へ）
- ☐ 提供方法を検討中（→Q37へ）
- ☐ 提供する予定はない（→Q37へ）
- ☐ わからない（→Q37へ）

36. Q36. Q35で「分野別リポジトリ（例：SSJDA, DDBJ）を提供している」「機関リポジトリを提供している」と回答された方へ伺います。貴機関で提供しているリポジトリシステムのユーザー認証方法をお知らせください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 機関管理の共通認証システム（LDAP、Active Directoryなど）
- ☐ 機関管理の共通認証システムに加え、学認フェデレーションによる機関外からの利用を許可
- ☐ 商用クラウドでの共通認証システム（Microsoft 365、OpenID Connectなど）
- ☐ サービス独自のユーザー管理
- ☐ サービスを提供していない
- ☐ わからない

37. Q37. 貴機関では、機関の構成員に対して共用計算機など何らかのデータ分析基盤を提供していますか。 *

1つだけマークしてください。

- ☐ オンプレミスで構築した基盤を提供している（→Q38・39へ）
- ☐ 学術機関が運営する基盤（例：HPCI、mdx）を提供している（→Q38・39へ）
- ☐ 商用クラウドサービス（例：Amazon AWS, Microsoft Azure, Google Cloud Platform）で提供している（→Q38・39へ）
- ☐ 提供方法を検討中（→Q40へ）
- ☐ 提供する予定はない（→Q40へ）
- ☐ わからない（→Q40へ）

38. Q38. Q37で「オンプレミスで構築した基盤を提供している」「学術機関が運営する基盤を提供している」「商用クラウドサービスで提供している」と回答された方へ伺います。貴機関が提供しているデータ分析基盤のユーザー認証方法をお知らせください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 機関管理の共通認証システム（LDAP、Active Directoryなど）
- ☐ 機関管理の共通認証システムに加え、学認フェデレーションによる機関外からの利用を許可
- ☐ 商用クラウドでの共通認証システム（Microsoft 365、OpenID Connectなど）
- ☐ サービス独自のユーザー管理
- ☐ サービスを提供していない
- ☐ わからない

39. Q39. Q37で「オンプレミスで構築した基盤を提供している」「学術機関が運営する基盤を提供している」「商用クラウドサービスで提供している」と回答された方へ伺います。データ分析基盤サービスについて、具体的なサービス内容をお知らせください。

- 40。 Q40. 研究者情報について、機関として維持管理を行っているものはどれですか。複数ある場合は、マスターとしているサービスを選択してください。 *

1つだけマークしてください。

- ☐ e-Rad (→Q41～44へ)
- ☐ researchmap (→Q41～44へ)
- ☐ ORCID (→Q41～44へ)
- ☐ Web of Science (旧ResearcherID、Publons) (→Q41～44へ)
- ☐ 機関独自のシステム (→Q41～44へ)
- ☐ 管理していない(研究者自身が管理を行っている) (→Q45へ)
- ☐ わからない (→Q45へ)
- ☐ その他: _____

- 41。 Q41. Q40で、何らかの管理を行っているとは回答された方へ伺います。貴機関による研究者情報サービスのユーザー認証方法をお知らせください。

1つだけマークしてください。

- ☐ 機関管理の共通認証システム (LDAP、Active Directoryなど)
- ☐ 機関管理の共通認証システムに加え、学認フェデレーションによる機関外からの利用を許可
- ☐ 商用クラウドでの共通認証システム (Microsoft 365、OpenID Connectなど)
- ☐ サービス独自のユーザー管理
- ☐ サービスを提供していない
- ☐ わからない

42. Q42. Q40で、何らかの管理を行っているとは回答された方へ伺います。貴機関による研究者情報サービスのアカウント情報は、どのタイミングで更新していますか。

1つだけマークしてください。

- ☐ 時期を決めて更新（年度始めなど）
- ☐ 研究者の採用・退任があったとき
- ☐ 研究者からの申請ベース
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

43. Q43. Q40で、何らかの管理を行っているとは回答された方へ伺います。情報サービス利用希望者が機関外の間人である場合、どのようなユーザーに対して機関でデータを管理している研究者情報サービスを提供していますか。

1つだけマークしてください。

- ☐ 共同研究者
- ☐ 委託業者（システム開発スタッフ、分析専門の外注スタッフ等）
- ☐ 組織外部へのサービス提供は行っていない
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

44. Q44. Q40で、何らかの管理を行っているとは回答された方へ伺います。機関外への情報サービス提供にあたり、どのような形で情報サービスを利用させていますか。（複数選択可）

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 学認フェデレーションを用いて利用させる
- ☐ 組織のアカウントを発行する
- ☐ サービス独自のアカウントを発行する
- ☐ サービスを利用させていない
- ☐ わからない
- ☐ その他: _____

45. Q45. その他、研究データ管理活動を支援するため、機関単位で契約している情報インフラがあればお聞かせください。

オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）について

このセクションでは、JPCOARの取り組み等について伺います（参考：[JPCOAR研究データ作業部会ページ](#)）。【回答先：JPCOAR参加機関 窓口担当部署】

46. Q46. 貴機関における研究データ管理体制の構築に向けて、JPCOARへ期待することはありますか。（複数回答可）

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 研修の開催
☐ 教材の開発
☐ ベストプラクティスの共有
☐ 情報発信・啓蒙活動
☐ コミュニティ形成
☐ 提言・報告等
☐ その他: _____

47. Q47. その他、貴機関および国内機関における研究データ管理の実施について、ご意見があればお聞かせください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム